

## ごあいさつ

春陽会は2023年春に第100回展を迎えますが、美術史に足跡を残す多くの作家を輩出してきました。この100年の歴史を尊重し、優れた先達に学びながらも、芸術の追求には新たな道を拓き、独自の表現や創造性を提起していくことが求められます。

春陽会では第100回展記念事業として、本会のみならず日本美術界のこれからの担う作家たちの展覧会を開催いたします。本展の出品者は、会員で構成する推薦委員会によって、50代までの進展目覚ましい会員から推薦されました。どうぞご高覧頂きますよう、お願い申し上げます。

一般社団法人春陽会

## SNAW 2022 について

SHUNYO NEW ARTISTS WAVE (略称 SNAW) は、春陽会の最も重要な活動の一つである、作家育成のための発表の場として企画されました。本年は2期に分け、第100回展記念事業との共同企画である「春陽会次世代を担う作家たち」展に引き続き、下記の展示が行われます。どうぞご高覧頂きますよう、ご案内申し上げます。

## SNAW 2022 Part 2

### 第1部

第99回春陽展受賞作家展 (絵画部・版画部)

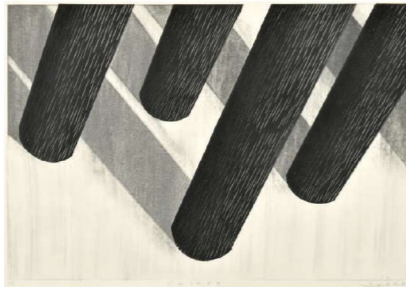
### 第2部

春陽会全国研究会選抜展 (絵画部・版画部)

### 第3部

春陽会東京研究会展 (絵画部)

会場：東京都美術館 2階 第4展示室  
会期：2022年12月13日(火)～20日(火)



Parade 54.5×79 木版

### 内山 良子 UCHIYAMA ryoko

横浜生まれ  
2005 女子美術大学大学院修了  
2004 版画協会展奨励賞  
春陽展 奨励賞  
2005 春陽展 奨励賞  
2021 春陽展 SOMPO 美術館賞



Standing Still B 117×182 油彩

### 桑嶋 美代子 KUWASHIMA miyoko

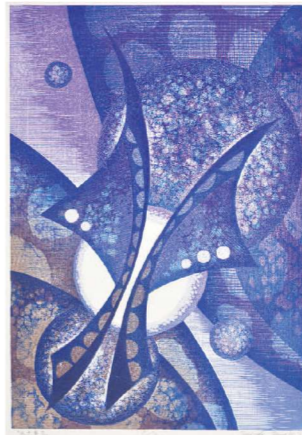
富山県生まれ  
2016 春陽展 奨励賞  
2018 春陽展 奨励賞  
2019 春陽展 南大路一賞  
2021 春陽展 春陽会賞



あの街の方へ 50×40 銅版

### 篠田 紀美代 SHINODA kimiyo

1988 女子美術大学卒業  
(卒業制作 優秀作品賞)  
1998 さっぽろ国際現代版画ビエンナーレ (テレビ北海道賞)  
2002 山本鼎版画大賞展 (長野県上田市)  
2012 南島原市セミナーヨ版画展 (スポンサー賞)  
2013 京都新聞チャリティー美術作品展 以後毎年出品  
2017 春陽展 (岡鹿之助賞)



水を斬る 62×43 木版・コラグラフ

### 鈴木 誠一 SUZUKI seiichi

1994 日本大学芸術学部芸術研究所 (版画コース) 修了  
由木 礼氏に師事  
2002 山本鼎版画大賞展 (長野県上田市)  
2004 あおもり版画トリエンナーレ (青森県)  
2009 春陽会会員推挙  
2021 木版画7人展 (東京銀座 養清堂画廊)  
2022 木版画10人展 (東京銀座 養清堂画廊)



鳥曇 22×30 木版

### 川井 木綿 KAWAI yu

2004 創形美術学校研究科版画課程修了  
2003 第28回全国大学版画展買い上げ賞  
2004 第81回春陽展 奨励賞  
2005 第82回春陽展 春陽会賞  
2006 春陽会版画部会員推挙  
2012 公募団体ベストセレクション 展選抜



Life Goes On F130 ミクストメディア

### 小山 瑞希 KOYAMA mizuki

2010 女子美術大学短期大学部専攻科修了  
2012 あかね画廊：『スカラベ展』 (~16)  
2017 春陽展 奨励賞受賞 (18) あかね画廊：『twice up!』 (~19)  
2019 春陽展 春陽会賞受賞  
2021 春陽展 春陽会賞受賞  
2022 春陽展 SOMPO 美術館賞受賞



楽園の女 92×50 銅版

### 澁谷 美求 SHIBUYA miku

1967 札幌生まれ  
2006 全道展奨励賞  
2006 日本版画協会展  
2013 全道展会友賞・会員推挙  
2015 全道展70周年記念企画展 (北海道立近代美術館)  
2016 春陽展 奨励賞  
2017 春陽展 奨励賞  
個展 (福原記念美術館・十勝)  
2018 春陽展 春陽会賞  
日本版画協会展会員推挙  
春陽会 会員推挙  
2020 高知国際版画トリエンナーレ (いの町紙の博物館・高知)



裏庭 F130 油彩

### 鈴木 善晴 SUZUKI yoshiharu

1996 名古屋芸術大学洋画コース卒業 (卒業制作賞上げ)  
2003 春陽展 春陽会賞受賞  
2004 春陽展 春陽会賞受賞  
2011 春陽展 損保ジャパン美術財団奨励賞受賞

個展 ギャラリー坂角 (名古屋 03、05)  
アートサロン金工堂 (名古屋 22)  
ギャラリー窓 (東京 04、07、11、14、17、20)  
Gallery Togeisha (東京 09)

## 春陽会の沿革

1922 (大正11) 年、春陽会は、日本美術院を離れた足立源一郎、長谷川昇、小杉未醒、倉田白羊、森田恒友、梅原龍三郎、山本鼎からなる7名の会員と今関啓司、石井鶴三、木村荘八、岸田劉生、中川一政、椿貞雄、山崎省三、萬鉄五郎の8名が客員として参加して結成されました。いずれも自我

意識の高い実力を兼ね備えた画家たちでありましたが、東洋的立場に立った洋画への志向を共通項に院展洋画部と草土社が合流した団体として春陽会が生まれました。

1923 (大正12) 年には第一回展が上野竹之台陳列場で開催されています。その注目度は大正期に帝展、二科展と洋画壇を三分して参りました。やがて岸田劉生、梅原龍三郎等は会を去りましたが、次第に「優雅で文人画風」と評される春陽会の作風も定着していきました。

1928 (昭和3) 年には、長谷川潔の入会を得て「版画室」が新設され、また、昭和10年代には加山四郎、岡鹿之助、三雲祥之助、高田力蔵等、欧州からの帰朝者を新たに迎え、清新にして典雅な雰囲気をもたらされたのも特筆すべき出来事でした。

戦時中は一時の中断を余儀なくされましたが、1947 (昭和22) 年より公募展として復活。版画の駒井哲郎をはじめ多くのすぐれた作家を集め、「絵画」「版画」ふたつの部を持つ有力な美術団体として今日にいたっています。



春陽会発会当日の記念写真 (1922年1月14日)



ハンドバッグの留め金が S100 油彩

### 川野 美華 KAWANO mika

2012 春陽展 春陽会賞  
2016 春陽展 損保ジャパン日本興亜美術財団賞  
個展『いよいよはきい』 (77gallery)  
2017 個展『夜行性の庭』 (MEGUMI OGITA GALLERY)  
2020 個展『Kein Zutritt』 (日本橋高島屋 S.C 美術館廊下)  
個展『Nighthawks』 (熊本現代美術館)  
2021 ART FAIR TOKYO 2021 (たけだ美術 / 東京国際フォーラム)



BLUE 112×180 油彩

### 齊藤 澄人 SAITO sumito

2001 春陽展 奨励賞  
2002 春陽展 奨励賞  
2003 春陽展 奨励賞  
2011 ~ 22 みすずかる光と風展 (あかね画廊)  
2012 長野県知事賞  
2017 信州ゆかりの現代作家展  
2018 個展 (ギャラリー窓)



Think it! 思考せよ! S100 油彩

### すずきくみこ SUZUKI kumiko

1995 武蔵野美術大学油絵学科卒業  
2001 春陽展 奨励賞  
2002 春陽展 奨励賞  
2003 春陽展 80回記念賞  
2005 春陽展 損保ジャパン美術財団奨励賞  
2006 第25回損保ジャパン美術財団選抜奨励展

個展 ギャラリー窓 (07、08、11、12、14、15、17、19、22)



霧の香 39×36 銅版

### 全田 紗和子 ZENDA sawako

2003 多摩美術大学大学院修了  
2000 第68回日本版画協会展 (~第69回)  
2003 第80回春陽展 第80回記念賞  
第37回文化庁現代美術選抜展  
2005 東京国際ミニプリント・トリエンナーレ 2005  
2007 春陽会会員推挙

個展、グループ展多数